

## ユネスコ・アルムニ・クラブ

### 広島ユネスコ協会と交流、平和記念資料館など見学



日本ユネスコ学生連盟のOB、OGで結成されたユネスコ・アルムニ・クラブ（関根武彦会長・会員72名）の一行18人が、10月15日、広島市中区の市民交流プラザ研修室で、広島ユ協との交流会を持たれました。広島からは畑口實副会長、世木田寛子副会長、高田幸子理事、藤川和康理事らが歓迎の意を込めて同席しました。

同クラブからは、1987年（昭和62年）の結成以来、会員相互の親睦を深めるとともに、ユネスコ憲章の精神に基づき社会貢献を目的として「講演会」「勉強会」「討論会」などを活発に開いてきたとの報告が行われました。また広島ユ協からはESD（持続可能な開発のための教育）やSDGs（持続可能な開発目標）推進、平和、教育、青少年育成、文化振興などの具体的な活動を紹介し、質疑を交え活発に意見を交換しました。

このあと一行は畑口副会長らの誘導で広島平和記念資料館を訪れ、ボランティアの案内で館内を見学されました。引き続き東館地下1階の会議室で、石丸紀興元広島大学教授（東大ユネスコ研究会OB）による、「ヒロシマの被爆後の復興、街づくり」について熱心に話を聞かれました

